

平成19年9月中間決算の概要

1. 要約	1ページ
2. 営業	2
3. 損益	6
4. 財務	12
5. リスク管理	16
6. 今期の業績予想	17
7. 中期経営計画の進捗状況	...	18
(付) 営業店一覧	19

数字は原則として単体ベース、単位未満切捨て

問合せ先
財務広報チームリーダー 吉原 和子
または財務室長 熊田 豊
電話 (代) 024-525-2525

1. 要約

- 当行が主たる営業基盤とする福島県の経済動向をみると、製造業が総じて順調な一方、非製造業では公共事業の削減、競争の激化などに苦しむ企業も少なくない。
- 米国のサブプライムローン問題については、当行はそれを組込んだ商品を購入しておらず、直接の影響は皆無。ただ、サブプライムローン問題を契機に株安、米ドル安(円高)が進行しており、原油高とも相俟って、景気の先行きはここにきて不透明感が強まっている。
- 当行の9月中間決算は増収増益となった。即ち、売上高に相当する経常収益は8,558百万円と前年同期を4.5%上回った。損益面をみると、不良債権処理費用が大幅に減少したことから、経常利益は802百万円で前年同期比54.9%増、純利益は1,054百万円で同69.9%増となった。なお、連結ベースでは、経常収益は10,050百万円で前年同期比2.6%増、経常利益は814百万円で同29.0%増、純利益は1,041百万円で同2.0倍となった。
- 上期の営業は総じて低調に推移した。即ち、預金は若干増加したものの、貸出は不良債権処理の影響も加わり事業性を中心に減少した。投信等の窓販も前年同期を下回った。
- 財務内容は若干ながら引き続き改善した。即ち、9月末の不良債権は285億円と3月末比22億円減少し、不良債権比率は6.2%に低下した(3月末6.5%)。一方、9月末の自己資本比率は単体9.93%(3月末9.92%)、連結10.23%(同10.21%)となった。なお、基本的自己資本のリスクアセットに対する比率を示すTier I 比率は7.65%に上昇した(同7.19%)。
- 平成20年3月期通期の業績については、当初予想ほどではないが、経常利益24億円、純利益26億円とそれぞれ前期比53%、60%の大幅増益を見込んでいる。
- 期末配当については、当初予定どおり、1株当たり2.5円と1円増配する方針である。

2. 営業

(1) 預金

○預金は上期中3億円増加し、9月末残高は5,825億円、前年比0.1%減となった。

○預金者別にみると、個人預金はますますながら、法人預金が引き続き不振であった。

(単位:億円)

	19年度上期中増減		9月末預金残高	
		前年同期		前年比%
個人	2	▲ 30	4,552	0.7
一般法人	▲ 29	▲ 15	948	▲ 4.2
地公体	42	6	248	18.5
その他とも合計	3	▲ 43	5,825	▲ 0.1
流動性	▲ 5	▲ 7	2,004	▲ 1.3
定期性	8	▲ 35	3,820	0.6

(2) 窓販・預り資産

○上期中の窓販額は96億円と前年を12.7%下回ったが、9月末の預り資産残高は780億円と前年を21.6%上回った。

○なお、預金と預り資産を合わせると、9月末の残高は6,605億円、前年比2.1%増となっている。

(単位:億円)

	19年度上期中		9月末預り資産	
	販売額	前年同期	残高	前年比%
投資信託	71	73	458	25.5
個人年金保	17	29	258	14.5
公共債	6	7	63	23.8
合計	96	110	780	21.6

(単位:億円)

	預金+預り資産の	
	期末残高	前年比%
16年度	5,999	5.0
17年度	6,423	7.0
18年度	6,544	1.8
19年度上期	6,605	2.1

(3) 貸出

- 貸出は事業性の落ち込みに加え住宅ローンも伸び悩み上期中118億円減少し、9月末残高は4,537億円、前年比3.1%減となった。
- 事業性貸出の落ち込みは、企業の資金需要が依然低迷したことに加え、不良債権の最終処理(上期の債権売却9億円、償却19億円)も影響している。

(単位:億円)

	19年上期中増減		9月末残高	
		前年同期		前年比%
消費性	▲ 0	22	1,282	0.2
うち住宅ローン	8	31	1,104	2.0
事業性	▲ 123	▲ 69	2,962	▲ 6.3
地公体	▲ 5	36	282	23.9
その他とも合計	▲ 118	▲ 10	4,537	▲ 3.1

(4) 有価証券

○有価証券は債券を中心に上期中80億円増加し、9月末残高は1,115億円、前年比11.3%増となった。

○9月末の有価証券評価損益は、株式市況の下落に伴い株式が含み損に転じたことから、全体ではネット17億円の含み損となった(3月末はネット1億円の含み益)。

(単位:億円)

(単位:億円)

	19年度上期中増減		9月末残高		有価証券評価損益	
		前年同期		前年比%	19/9月末	19/3月末
債券	80	1	939	14.4	▲ 9	▲ 10
株式	▲ 15	▲ 19	93	▲ 13.0	▲ 9	1
投信	16	17	82	12.5	2	10
合計	80	0	1,115	11.3	▲ 17	1

3. 損益

(1) コア業務純益

○コア業務純益は2,646百万円と前年同期を242百万円、8.3%下回った。

○貸出金利息と有価証券利息は増加したものの、金利の上昇から預金利息が増加したうえ、賞与の復活に伴い人件費が増加したことが主因。

(参考) 債券売買損益と一般貸倒引当金を含む業務純益は2,749百万円と前年同期(2,987百万円)比7.9%減。

(単位:百万円)

	19/9月期	18/9月期	前年同期比
業務収益(コアベース) A	8,229	7,810	419
貸出金利息	6,133	6,023	110
有価証券利息配当金	821	529	292
受入手数料	1,193	1,226	▲ 33
業務費用(コアベース) B	5,582	4,922	660
預金利息	865	330	535
支払手数料	541	562	▲ 21
営業経費	4,098	3,939	159
人件費	1,921	1,793	128
物件費	1,885	1,875	10
コア業務純益 (A-B)	2,646	2,888	▲ 242

(2) 経常収益・経常利益・最終利益

○売上高に相当する経常収益は金利上昇に伴う貸出金利息、有価証券利息の増加から8,558百万円と前年同期比4.5%の増加となった。

○損益面をみると、コア業務純益、株式売却益は減少したものの、不良債権処理費用が1,673百万円（前年同期2,506百万円）と大幅に減少したことから、経常利益は802百万円と前年同期比54.9%増、純利益は1,054百万円で同69.9%増といずれも大幅な増益となった。

(単位:百万円)

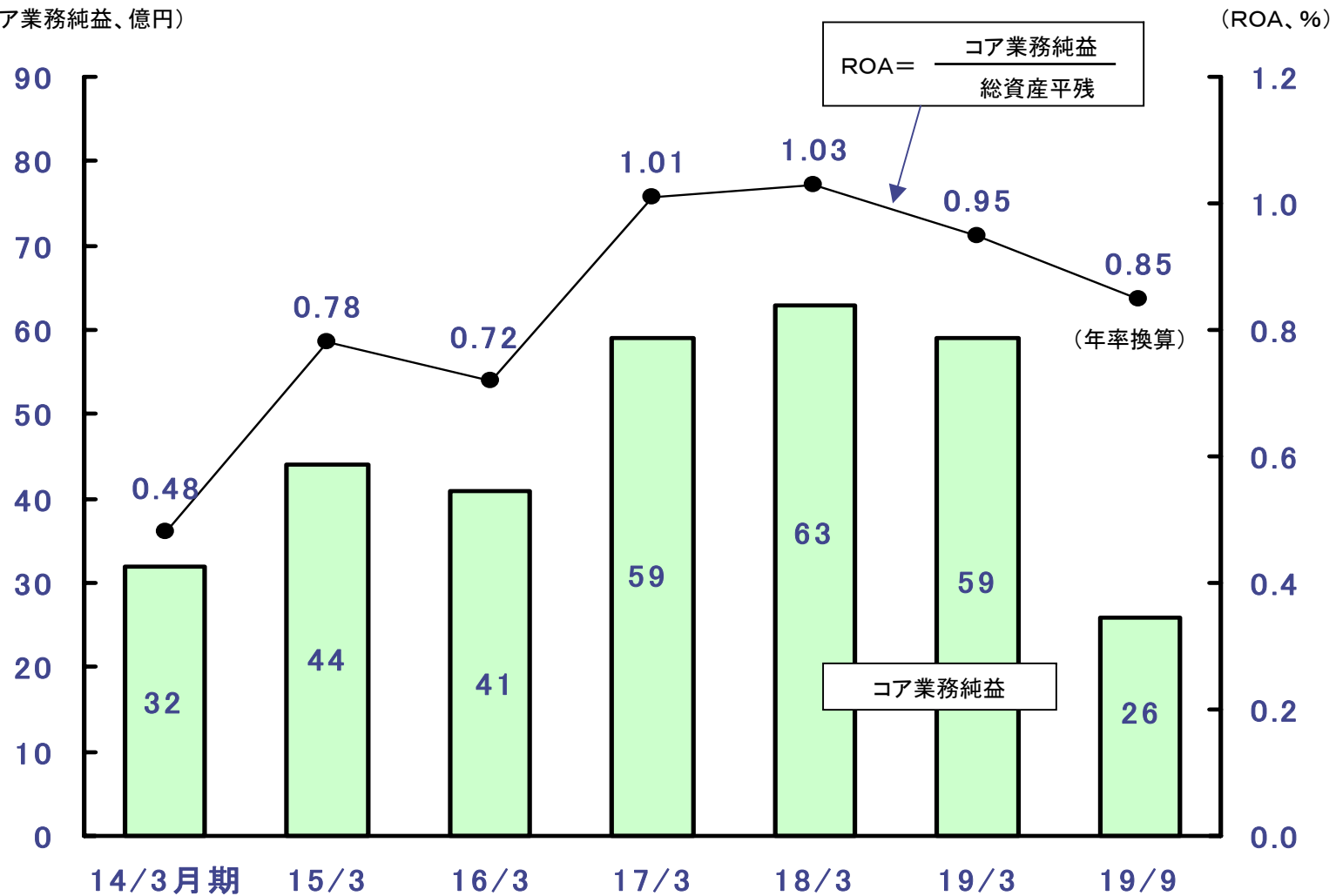
	19/9月期	18/9月期	前年同期比
経常収益	8,558	8,182	376
コア業務純益	2,646	2,888	▲ 242
不良債権処理費用	1,673	2,506	▲ 833
一般貸倒引当金(△戻入)	△ 44	△ 86	42
個別貸倒引当金	414	1,537	▲ 1,123
貸出金償却	1,231	986	245
貸出債権売却損	71	67	4
株式売却益	128	192	▲ 64
経常利益	802	518	284
特別利益	275	164	111
償却債権取立益	275	163	112
特別損失	9	80	▲ 71
固定資産減損損失	—	39	▲ 39
中間純利益	1,054	620	434

(3) 収益力の動向

①ROA【総資産利益率】

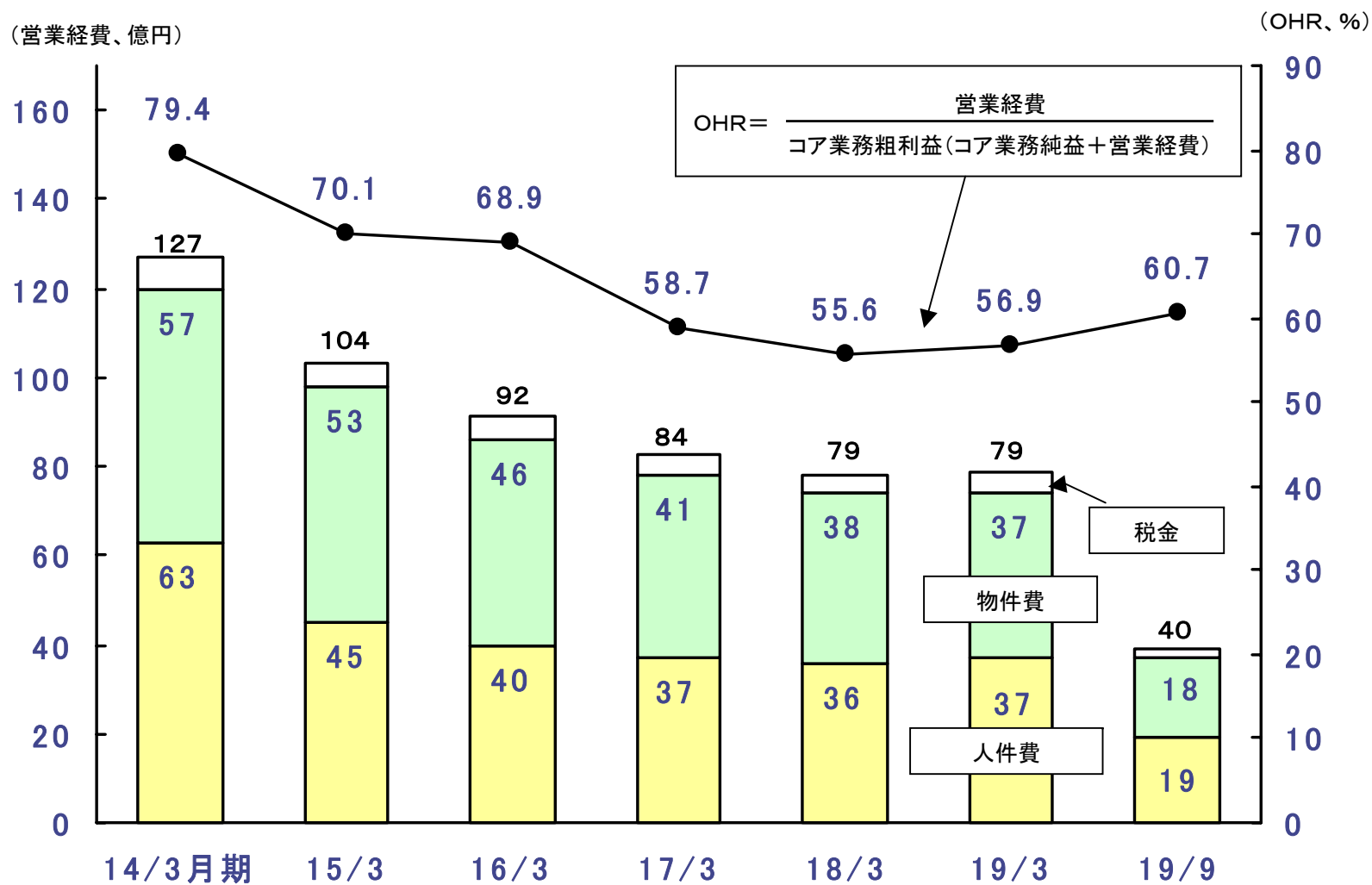
○コア業務純益ベースのROAは0.85%と0.10%ポイント低下した(前期0.95%)。

(コア業務純益、億円)



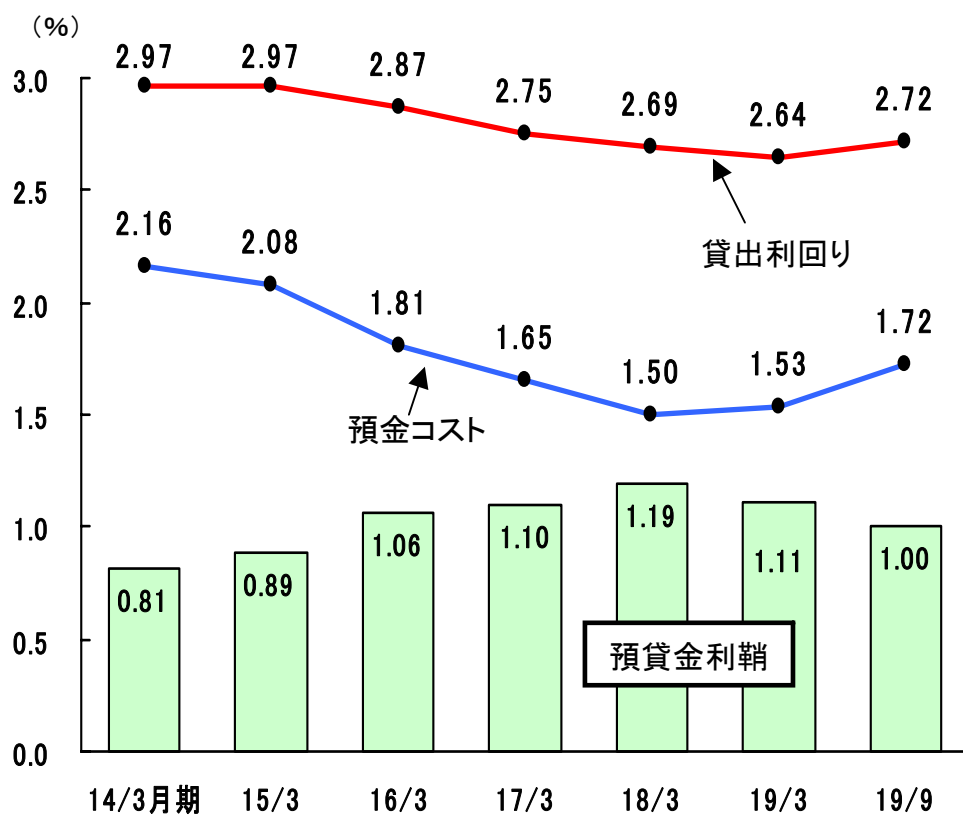
②OHR【営業経费率】

○コア業務粗利益に占める営業経費の割合を示すOHRは60.7%と若干上昇した(前期56.9%)。

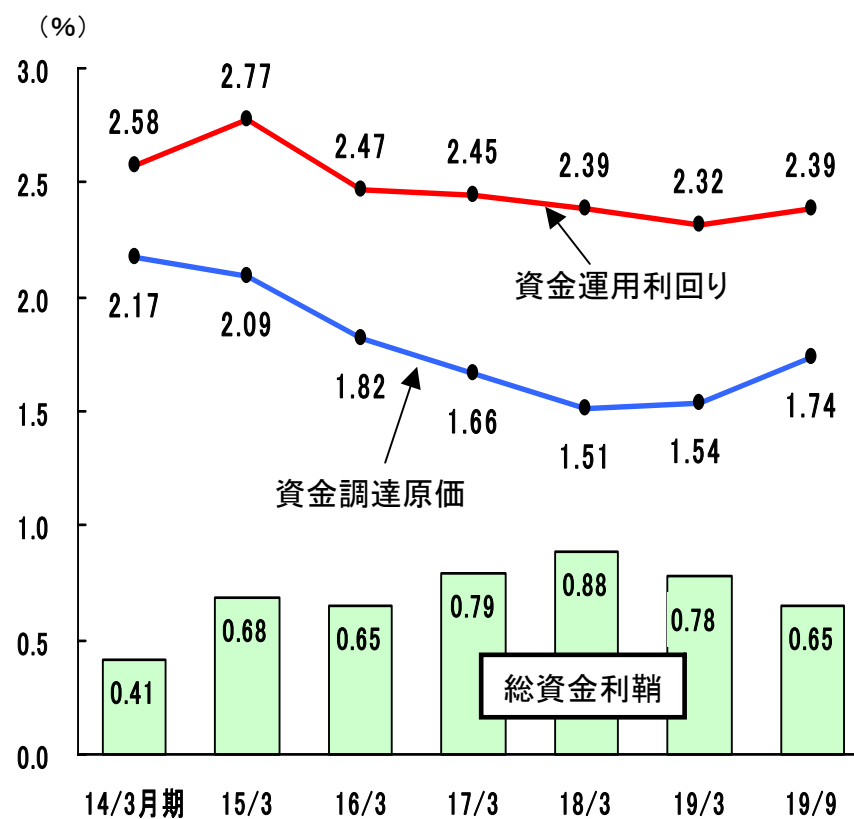


③利鞘

○預貸金利鞘は、貸出利回りが上昇に転じたものの、預金コスト(預金利回り+経費率)の上昇がこれを上回り、1.00%と0.11%ポイント縮小した(前期1.11%)。



○有価証券等を含めた総資金利鞘も0.65%と0.13%ポイント縮小した(前期0.78%)。



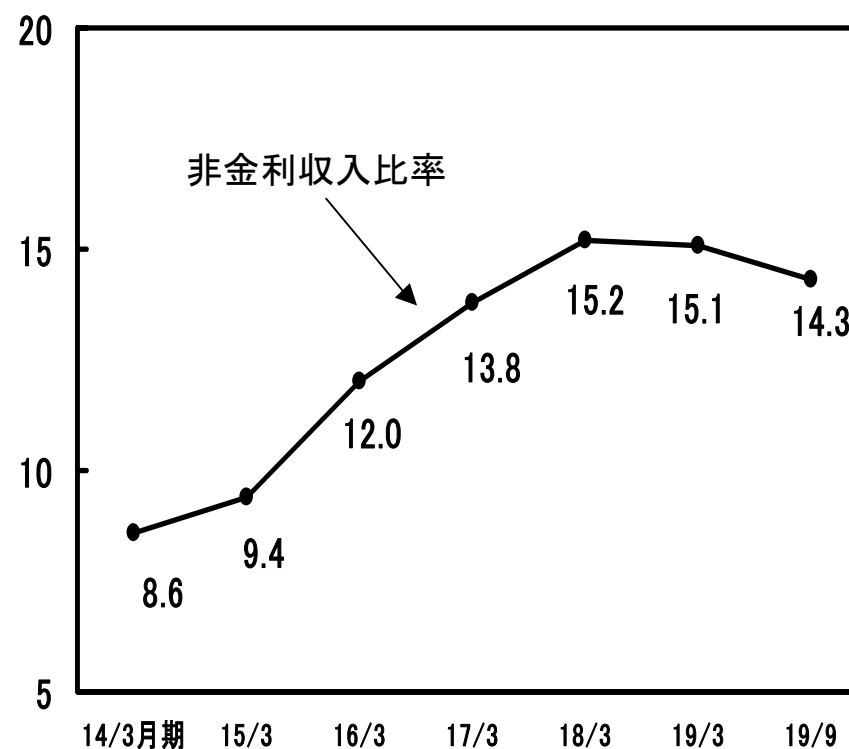
④手数料ビジネス

○窓販手数料等の非金利収入が収入全体に占める比率は14.3%と若干低下した(前期15.1%)。

(単位:百万円)

	非金利収入 (役務取引収益) A	総収入 (※業務収益) B	非金利 収入比率 A/B
15/3月期	1,599	16,890	9.4%
16/3	1,811	15,075	12.0%
17/3	2,247	16,229	13.8%
18/3	2,485	16,296	15.2%
19/3	2,417	15,954	15.1%
19/9	1,193	8,304	14.3%

※業務収益＝役務取引収益＋資金運用収益＋その他業務収益

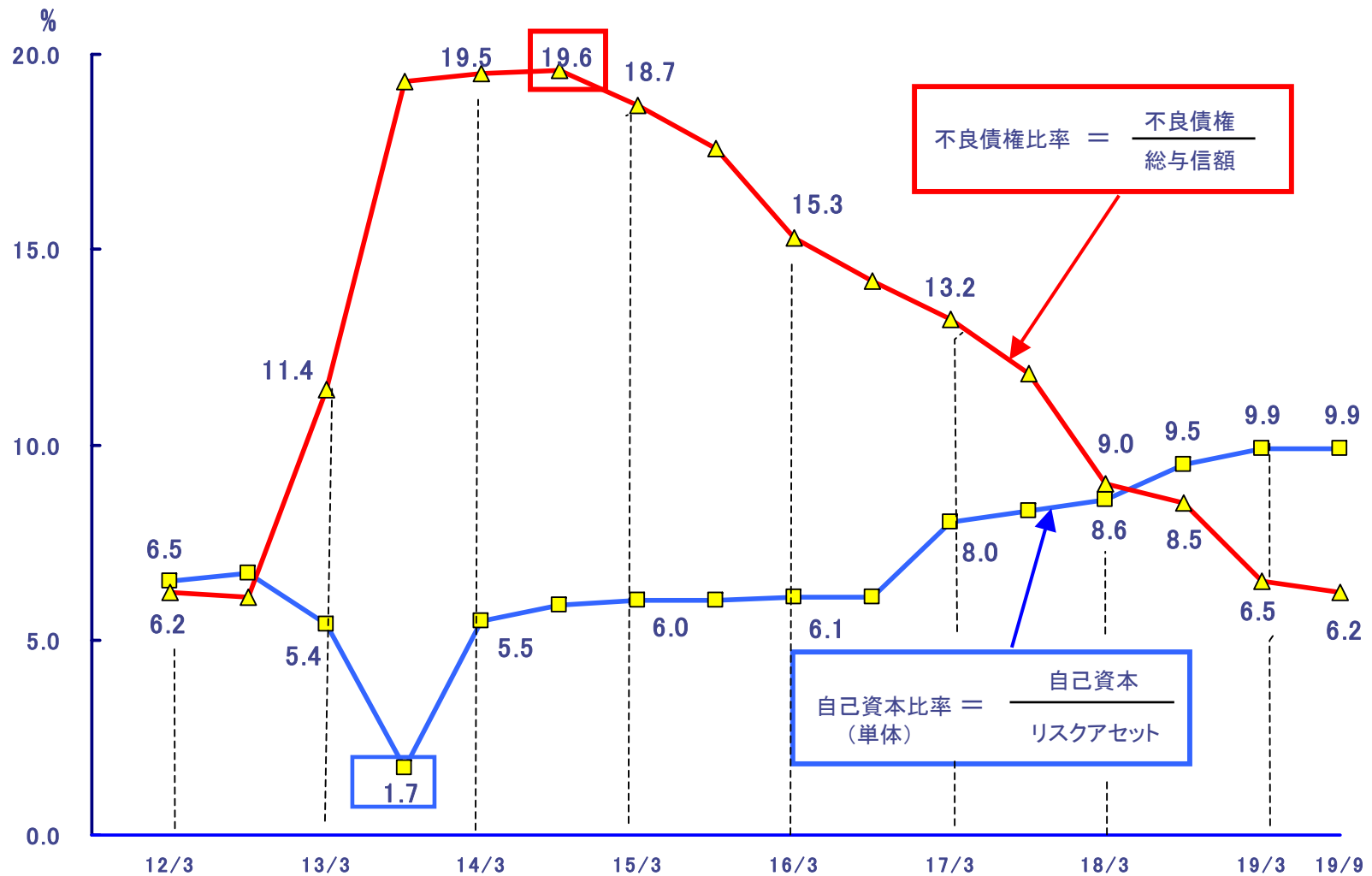


4. 財務

(1) やや長い目でみた動向

○不良債権比率は大幅に低下(14年9月末19.6%→19年9月末6.2%)。

○自己資本比率は着実に上昇(13年9月末1.7%→19年9月末9.9%)。



(2) 不良債権(金融再生法開示基準)

○9月末の不良債権は285億円と3月末(307億円)比22億円減少した。

○不良債権比率(総与信に占める不良債権の比率)は6.2%に低下した(3月末6.5%)。

(単位:億円)

	A 不良債権				B 正常債権	C=A+B 総与信	A/C 不良債権 比率%
	要管理 債権	危険債権	破産更生 等債権				
13/9月末	1,043	321	523	198	4,341	5,384	19.3
14/9月末	958	307	479	171	3,926	4,884	19.6
18/3月末	427	87	216	123	4,309	4,736	9.0
19/3月末	307	45	165	96	4,393	4,701	6.5
19/9月末	285	42	152	91	4,295	4,581	6.2
前期比	▲ 22	▲ 3	▲ 13	▲ 6	▲ 100	▲ 120	▲ 0.3

○取引先企業の債務者区分の動向をみると、正常債権への上方シフトが相変わらず少ない一方、不良債権への下方シフトは倒産多発もあって増加。上期の不良債権減少は主として返済・回収と償却によるもの。

(単位:億円)

	不良債権 増減額	正常債権への 上方シフト				
		正常債権への 上方シフト	正常債権からの 下方シフト	償却	売却	返済 回収
17/3月期	▲ 93	▲ 32	48	▲ 62	0	▲ 47
18/3	▲ 206	▲ 15	49	▲ 82	▲ 107	▲ 51
19/3	▲ 120	▲ 15	42	▲ 35	▲ 59	▲ 53
19/9	▲ 22	▲ 5	42	▲ 19	▲ 9	▲ 30

○9月末の不良債権に対する保全率は85.5%と不良債権に対する備えは十分できている。

(単位:億円)

	不良債権額 A	保全額 B			保全率% B/A
		担保・保証	引当金		
破産更生等債権	91	91	84	7	100.0
危険債権	152	131	81	49	86.2
要管理債権	42	21	13	8	51.3
合計	285	244	178	65	85.5

(3) 自己資本(BIS国内基準)

○9月末の自己資本比率は、自己資本が有価証券評価損の影響で減少した一方、リスクアセットも貸出減少の影響で減少し、9.93%となった(3月末9.92%)。なお、連結ベースでは10.23%(同10.21%)。

○9月末のTier I 比率(基本的な自己資本のリスクアセットに対する比率)は、昨年9月発行の永久劣後特約付新株予約権付社債(45億円)の株式転換が完了したことから、7.65%に上昇した(3月末7.19%)。なお、繰延税金資産は58億円でTier I に占める比率は21.8%に低下した(3月末22.5%)。

(単位:億円)

	自己資本			リスクアセット	信用リスク	オペレーショナルリスク	自己資本比率(%)	
	Tier I (基本的項目)	Tier II (補完的項目)	単体				連結	
13/9月末	73	37	37	4,261	4,261	—	1.71	2.26
14/3月末	218	173	46	3,959	3,959	—	5.52	5.59
17/3月末	297	209	89	3,705	3,705	—	8.04	8.19
18/3月末	305	221	85	3,541	3,541	—	8.62	8.87
19/3月末	353	256	97	3,560	3,293	266	9.92	10.21
19/9月末	346	267	79	3,491	3,228	263	9.93	10.23
前期比	▲ 7	11	▲ 18	▲ 69	▲ 65	▲ 3	0.01	0.02

(注)オペレーショナルリスクは基礎的手法による。

5. リスク管理

○9月末の統合リスク量は224億円で自己資本の64.8%、Tier I の84.1%となっている。

	19/9月末	19/3月末
統合リスク量	224億円	199億円
信用リスク	107億円	92億円
市場リスク	96億円	86億円
オペレーショナルリスク	21億円	21億円
自己資本	346億円	353億円
うちTier I	267億円	256億円
リスク量の自己資本比	64.8%	56.6%
" Tier I 比	84.1%	78.0%

(注)信用リスクと市場リスクはVaR(一定期間に一定確率で被り得る最大損失額)による。

VaR計測方法:保有期間1年(240日)、観測期間1年、信頼水準99%。

○9月末の銀行勘定に係る金利リスク量は53億円、

自己資本の15.4%と、アウトライヤー基準(20%)の範囲内に収まっている。

	19/9月末	19/3月末
金利リスク量 A	53億円	45億円
自己資本 B	346億円	353億円
A/B	15.4%	12.7%

(注)金利リスクは99パーセンタイルによる。

6. 今期の業績予想

○平成20年3月期通期の業績については、経常利益24億円、純利益26億円と、当初予想比では最近の倒産多発傾向等から各4億円下回るが、前期比ではそれぞれ53%、60%の大幅増益を見込んでいる。

なお、純利益は既往ピーク(昭和63年3月期20億円)を更新する見通し。

○期末配当については、当初予定どおり、年2.5円と1円増配する方針。

(単位:百万円)

		17/3月期 実績	18/3月期 実績	19/3月期 実績	20/3月期 予想	当初予想
単 体	経常収益	17,761	18,377	16,955	17,000	17,000
	経常利益	415	1,172	1,565	2,400	2,800
	純利益	1,121	1,064	1,620	2,600	3,000
連 結	経常収益	20,882	21,400	20,102	20,100	20,100
	経常利益	720	1,303	1,811	2,500	2,900
	純利益	1,119	1,062	1,509	2,600	3,000
1株当り配当		年1.5円	年1.5円	年1.5円	年2.5円	年2.5円

7. 中期経営計画「プラン68」(平成17～19年度)の進捗状況

○財務面では、最大の目標としてきた不良債権比率の6.8%への引下げを1年前倒しで達成済みであるほか、自己資本比率も目標を上回る見込み。

○損益面では、コア業務純益は不良債権の最終処理に伴う貸出残高の落込み等から目標を下回る見込みであるが、経常利益と純利益は不良債権処理費用の大幅減少から目標を大きく上回る見込み。

(単位:億円)

		16年度	17年度		18年度		19年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	見込
財務	不良債権比率(%)	13.2	9.9	9.0	7.8	6.5	6.8	5.6
	自己資本比率(%)	8.0	8.1	8.6	8.2	9.9	8.6	10.2
損益	コア業務純益	59	61	63	64	59	68	54
	経常利益	4	10	11	12	15	17	24
	当期純利益	11	12	10	15	16	20	26

(付) 営業店一覧(19年11月20日現在)

	店舗名	営業店長	電話番号	
県	本店営業部	吉田 利明	024-525-2911	
	渡利出張所	中井 智	024-523-3341	
	山下町出張所	鈴木 学	024-531-5311	
	泉出張所	長嶺 公木	024-559-1231	
	福島西支店	久能 敏光	024-534-7158	
	福島北支店	上野 芳秀	024-553-5561	
	福島南支店	渡辺 吉信	024-545-3111	
	蓬萊出張所	小枝 政之	024-548-6331	
	笹谷支店	宮崎 浩行	024-558-1135	
	岡部支店	手代木 巧成	024-531-8081	
	大森支店	小石沢 好勝	024-546-5911	
	北	八島田支店	後藤 秀之	024-558-6001
		飯坂支店	瀬谷 照雄	024-542-3251
		保原支店	鈴木 光栄	024-575-3101
		桑折支店	小野 健一	024-582-2207
		川俣支店	長谷川 正人	024-565-2211
二本松支店		佐藤 明則	0243-22-2151	
県	本宮支店	益弘 薫	0243-34-3161	
	郡山支店	和知 昭	024-932-1500	
	芳賀支店	阿部 正文	024-956-0188	
	開成支店	新田 廣行	024-921-0301	
	大槻支店	二瓶 健	024-951-8500	
	郡山北支店	小野 英典	024-934-0155	
	富久山支店	富山 浩明	024-934-1620	
	菜根支店	佐藤 善範	024-923-4500	
	中	安積支店	安達 英範	024-945-5530
		荒井支店	半沢 健一	024-946-1850
富田支店		佐久間 行英	024-952-3922	
須賀川支店		高野 俊哉	0248-75-2158	
須賀川西支店		熊坂 利秀	0248-72-8855	

	店舗名	営業店長	電話番号	
県	矢吹支店	酒井 広則	0248-42-3911	
	白河支店	千葉 輝人	0248-24-1311	
	南	船引支店	古川 次男	0247-82-1151
		石川支店	大沼 俊雄	0247-26-2127
		棚倉支店	斎藤 勇	0247-33-2211
		東館支店	小貫 博市	0247-46-3141
会	会津支店	吉田 直人	0242-26-6311	
	一箕支店	渡辺 忠夫	0242-25-4733	
	門田支店	前野 博之	0242-28-5131	
	猪苗代支店	長谷川 茂樹	0242-62-2054	
	喜多方支店	高田 昭一	0241-22-2163	
浜	相馬支店	上野 裕之	0244-35-2161	
	原町支店	山崎 光	0244-23-2158	
	浪江支店	星 宗一	0240-34-3181	
	通	富岡支店	芳賀 良栄	0240-22-2161
		四倉支店	原田 信一	0246-32-4151
		平支店	古市 徳三郎	0246-23-3331
		平東出張所	及川 清栄	0246-21-5411
		内郷支店	葛西 宏一	0246-26-2061
		湯本支店	高萩 文彦	0246-42-2138
		小名浜支店	稲村 修	0246-53-4101
		植田支店	宍戸 康宏	0246-62-2151
県		仙台支店	岩田 清吾	022-223-8191
		黒磯支店	今村 正弘	0287-62-1625
	水戸支店	和田 牧夫	029-224-5606	
	大宮支店	山口 啓二	048-643-2830	

(参考) ローンプラザ一覧(住宅ローン等の相談に応じるところ)

福島	南 健治	024-521-6177
郡山	加藤 勲	024-932-3380
須賀川	砥石 一浩	0248-72-5840
白河	平井 稔	0248-24-5858
会津	加藤 健一	0242-37-2141
いわき	吉田 幸嗣	0246-37-8816